

薬学科

臨床開発コース特論・演習 Integrated Drug Development

薬：L1-19613MY

コース科目 6 年／前期 1.5 単位 選択必修科目

科目責任者 前田 英紀(レギュラトリーサイエンス研究室)

■教育目的

6 年制薬剤師教育のまとめとして、医薬品開発に関連した系統講義の知識と 5 年次の標準・コース実習での実務経験を再考し、よりレベルの高い統合的な能力を身につける。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、YD-②、YD-⑥】

■学習到達目標

- ヘルシンキ宣言、GCP を意識しながら治験・臨床試験内容を説明することができる。(知識、技能、態度)
- 病態生理・薬物治療学・薬理学・薬物動態学・臨床統計学などの知識を活かして治験・臨床試験の内容を理解できる。(知識、技能、態度)
- 治験・臨床試験の準備～終了までの必要な手順を説明できる。(知識、技能、態度)
- 治験・臨床試験で得た知識、技能、態度を一般の薬剤師の業務に応用できる。(知識、技能、態度)
- 治験・臨床試験における被験者とプライバシーの保護を意識しながら治験・臨床試験内容を具体的に説明できる。(知識、技能、態度)
- ビジネスに必要なマナーを習得する。(知識、技能、態度)
- 臨床問題を解決するための IT リテラシーと英語能力を習得し、グローバルマインドを理解する。(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：医療倫理、生物統計、非臨床試験、臨床試験、医薬品情報、関連法規などこれまでに修得した医薬品開発関連の知識や薬物治療の知識を復習しておく(30 分以上)

復習：講義資料を復習する(30 分以上)

■授業形態

ディスカッション・ディベート、双方向型授業、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBO コード
1～11	実習後講義・演習	医薬品開発、治験、臨床試験、医薬品行政の正しい解釈のための特別講義	A-(1)、A-(2)、A-(4)、B-(2) ②、B-(3) ②、E3-(1) ④～⑥
11～12	特別講義	多職種連携について(仮題、日本社会事業大学)	A-(1)、A-(2)、A-(3)、A-(4)
15	特別講義	「患者さんの適正使用を支えるために～一般社団法人くすりの適正使用協議会の活動～」	
15	補遺		A-(1)、A-(2)、A-(4)、B-(2) ②、B-(3) ②、E3-(1) ④～⑥

■授業分担者

前田 英紀(責任者)、宮嶋 篤志(副責任者)、佐藤 光利、廣瀬 誠、菱沼 滋、紀 嘉浩、高野 麻子、進藤 佐和子、朝田 瑞穂、柳津 茂慧、学外講師

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

講義時の参加態度、質疑・討議に対する積極性の評価(50 %)、講義終了後の課題・レポートによる評価(50 %)

■教科書

各授業における資料

■参考書

特になし